

よう来てつかった、日野町へ  
「トワイライトエクスプレス」乗客をおもてなし



横断幕や拍手で乗客を大歓迎

JR西日本の豪華寝台列車「トワイライトエクスプレス」が根雨駅に停車するのに合わせ、11月14日と21日、根雨駅前広場でもおもてなし歓迎イベントを行いました。  
これは、乗客に観光情報をはじめとした町の魅力を発信し、これをきっかけに交流人口の拡大を図るため企画したものです。  
当日、午後9時21分に列車が到着すると、1番ホームや根雨駅前広場で大勢の町民らが乗客をお出迎え。「よう来てつかった」「ようこそ、日野町へ」などと声をかけたり手を振ったりと、乗客を歓迎しました。



金持青年会が乗客の開運を祈り獅子舞を披露

また、駅構内にオシドロの写真、駅前広場には金持神社のレプリカを設置し、町特産品の試食販売や金持神社札所（売店）の出前販売も行われました。乗客には、金持青年会（金持）による獅子舞の披露やおはらいが行われ、乗客の開運を祈りました。  
同イベントでは、14日は35人、21日には40人の乗客が歓迎を受け、乗車時には奥日野海藻米などのお土産品も手渡され、「まさかここまで大歓迎されると思わなかった」「今度はゆっくり日野町を訪れたい」などと話し、笑顔を見せていました。

しなやかでホット。ジャズの音色に酔いしれる  
太枝一正とゆかいな仲間たちジャズコンサート



本格的なジャズのサウンドと歌で会場を魅了

11月15日、町文化センター・ホール森の音楽隊で、「太枝一正とゆかいな仲間たちジャズコンサート（同実行委員会主催）」が開かれ、町内外から多くの人が来場しました。  
町内で飲食店を営む太枝一正さん（根雨）が参加するジャズバンドのホットウェイブをはじめ、エリック・サトウH202、歌手の堀内実智代さんらが、「Fly me to the Moon」「A列車で行こう」など、ジャズの名曲を披露しました。  
来場者は手拍子や曲を口ずさんだり、体を揺らしたりと演奏を楽しみ、会場全体が盛り上がりました。

子どもや親のケア、命の大切さを伝える

山根美奈子さんに母子保健推進会議会長表彰



受賞を喜ぶ山根さん（右）

10月7日から10日まで、神奈川県で開かれた、「健やか親子21全国大会（母子保健家族計画全国大会）」で、山根美奈子さん（野田）が、母子保健推進会議会長表彰を受賞し、11月6日、役場に報告に訪れました。  
山根さんは、平成10年に出張専門の助産院を開業。以来、お産や母乳ケア、母子訪問活動を行ってきたほか、子どもの性と生殖の健康を守る「いのちの出前教室」などの活動が評価されたものです。



# 町の古民家を生かした現代芸術にふれる 奥日野里山藝住祭



自然に囲まれた中で思うままに作品づくり



作品に見入る来場者。古民家も芸術の一部に

期間中訪れた人は、作品に見入り、それぞれに込められた思いや世界観に引き込まれている様子でした。

「縁側から当たる日光を利用し、日光やあなたがたかみを感じるものを作りたいかった。ぜひ、多くの人に見てほしい」と話しました。

会場となった古民家は、長年空き家となっていました。石村さんが地元の協力を得ながら再利用。流木を使った作品や、豆腐づくりの様子やスタツフのスナツプ写真などの芸術作品が並びました。

県内外からさまざまな芸術家を招き、日野町に滞在してもらい作品を創作し発表する「奥日野里山藝住祭」の作品発表が、11月21日から23日まで、中菅地内の古民家で開かれました。  
同祭は、県内10カ所で開かれている「鳥取藝住祭」の1つ。一般社団法人里鳥代表の石村勇人さん（上菅）が呼びかけ、県内外から15組の造形作家や音楽家などの芸術家を招き、古民具や廃材を利用した作品制作や自然を素材とした作品作りを行いました。

# 深まる秋を楽しみながら、歴史をたどる 都合山たたら跡探訪



往時をしのびながらたたら街道をゆく

行程は、蔵美術館（上菅）から都合山たたらまでの、片道約50分の道のり。行きは上り坂になりませんが、傾斜もゆるく、トレッキング

上がります。行程は、蔵美術館（上菅）から都合山たたらまでの、片道約50分の道のり。行きは上り坂になりませんが、傾斜もゆるく、トレッキング

11月3日、上菅から都合山たたら跡（中菅）までの「たたら街道」を歩く、「都合山たたら跡探訪」の道をゆく（奥日野ガイド倶楽部、町教育委員会主催）が行われ、町内外から約20人が参加しました。小春日和となった当日は絶好のウォーキング日和。集合場所の上菅駅では、10月に駅舎に設置されたばかりの都合山たたら解説板を、奥日野ガイド倶楽部の杉原幹雄さん（安原）が説明し、旅の期待も盛り上がります。



現地では杉原さん（右）のロマンあふれる説明が

グ初心者でも楽に歩けます。たたら街道沿いの溪流には、「上菅五滝」と呼ばれる5つの滝の姿も楽しめ、参加者らは、深まる秋の奥日野の自然を楽しみながらゴールを目指しました。

終点の都合山たたら跡は、明治時代、根雨の鉄山師・近藤家が経営していたたたら場で、東京帝国大学（当時）の俵国一博士による創業時の詳細な記録が残っている、学術的にも貴重な生産遺跡です。

現地では、杉原さんがたたら製鉄の仕組みや遺跡の構造などを、歌やユーモアを交えながら解説し、歴史ロマンと健康づくりが一度に楽しめたひとときとなりました。